

# ユニセフ 第45回 ハンド・イン・ハンド募金 HandinHand

今年のテーマ 「すべての子どもに予防接種を〜今、子どもたちの命を守る行動を！」



“手に手をとって”を意味するユニセフ ハンド・イン・ハンド募金は、1979年の国際児童年にはじまりました。誰もがボランティアとして参加できる募金活動です。毎年11月～12月をハンド・イン・ハンド募金キャンペーン期間とし、街頭や職場、学校、ご家庭で工夫を凝らしてユニセフ募金活動を行っています。ふるってご参加ください。参加方法は、以下の通り。  
(写真は昨年の様子)

## 1 街頭募金に参加する 今年の街頭募金は8か所予定。ボランティアを募集します!

### 花巻市

日時 2023年 **12月9日(土)** 11:00~12:00

会場 ・アルテマルカン桜台店 ・ビフレ花巻店  
・イトーヨーカ堂花巻店 ・コープ花巻あうる店



▲コープ花巻あうるの様子

### 盛岡市

日時 2023年 **12月10日(日)** 11:00~12:30

会場 ・カワトク ・アネックスカワトク ・MOSSビル  
・クロステラス盛岡



▲北上市立上野中学校 校内募金の様子

## 2 校内(職場)募金に取り組む

学校内(職場内)で募金活動をするための募金箱、ポスターをお貸しします!

## 3 フレンドネーションに協力

パソコンやスマホから協力できる募金の形。詳細は、11月以降にホームページでお知らせします!

## 賛助会員募集

賛助会員制度は、日本国内で行うユニセフ募金活動や、広報活動、啓発活動などを会費によってご支援いただく方法です。「日本ユニセフ協会賛助会員」の会費の50%は、岩手県ユニセフ協会の活動に使われます。寄付金控除の対象となります。会員のみなさまにはニュースやイベント案内をお届けしています。賛助会員へのご入会をお願いいたします。



一般会員 (個人ならどなたでも) 1口 / 5,000円

学生会員 (18歳以上の学生) 1口 / 2,000円

団体会員 (団体・法人・企業) 1口 / 100,000円

● 申込書をご希望の方には郵送いたします

## ボランティア募集

ボランティアは、募金活動、学校などへの出前講座、そのほかイベントの運営を行います。一緒に活動するボランティアを募集しています。



**集めています!** これらも募金になります

- ・使用済み切手
- ・書き損じはがき
- ・外国コイン



※お持ちの方は、ご連絡ください。



2023年11月  
【発行】  
岩手県ユニセフ協会

〒020-0690  
岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F  
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491  
e-mail : sn.iunicef\_iwate@todock.coop  
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

## 世界中で絶え間なく起こる紛争や危機、気候災害によって「故郷を追われた子どもの数」が増加!

ウクライナを含む各地の紛争、食料不安の高まり、気候関連による飢きんや洪水の脅威で、避難や支援を必要とする人の数が増えています。また、世界各地でコレラやはしかが再流行し、さらなる危険をもたらしています。ユニセフでは、訓練を受けたスタッフと専門家が移動式チームを組んで支援を届けています。ユニセフに寄せられた緊急募金は速やかにユニセフ本部を通して現地事務所に送り、被害にあった子ども達のために活用されます。

### 現在、受付中の緊急・復興募金は6つ

 <p><b>ウクライナ緊急募金</b> 危機下にあるウクライナの子どもたちやその家族を支援するための募金</p>	 <p><b>自然災害緊急募金</b> 世界各地で発生している地震や津波、洪水、台風やサイクロン、干ばつなどの自然災害で被災した人への緊急・復興支援活動を支える募金</p>
 <p><b>人道危機緊急募金</b> 世界各地でいまだ続く戦争や武力紛争の影響を受けている子どもたちへの緊急・復興支援活動を支える募金</p>	 <p><b>アフリカ栄養危機緊急募金</b> アフリカ西部・南部を中心に栄養危機に直面する子どもたちを支援する募金</p>
 <p><b>シリア緊急募金</b> 武力紛争により避難を強いられているシリアの子どもたちと家族を支援する募金</p>	 <p><b>ロヒンギャ難民緊急募金</b> ミャンマーのラカイン州から国境を越えてバングラデシュに逃れてきたロヒンギャ難民の子どもたちを支援する募金</p>

## ユニセフ「自然災害緊急募金」ご協力のお願い

9月10日、暴風雨「ダニエル」がリビアを直撃。強風や豪雨による大洪水が、北東部を中心に被害をもたらしました。10月7日には、アフガニスタンでマグニチュード6.3の地震が発生しました。災害用テント、衛生キット、毛布、水、食料などを支援します。リビアの洪水、アフガニスタンの地震を含む、最も支援を必要としている子どもたちとその家族に支援を届けるため、ご協力をお願いいたします。



## ユニセフ募金にご協力をお願いします

《郵便局》(ゆうちょ銀行) 振替口座  
下記の口座については窓口の場合、硬貨手数料・振込手数料ともにかかりません  
振替口座：00190-5-31000  
(窓口の場合 手数料免除)  
口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

\*緊急募金には、通信欄に上記の6つのいずれかを明記してください。「ウクライナ」「自然災害」「人道危機」など。  
\*明記がない場合は一般募金になります。  
\*振込用紙をご希望の方は、岩手県ユニセフ協会へご連絡ください。  
TEL019-687-4460(月~木 10:00~15:00)



# 世界の果ての通学路

ON THE WAY TO SCHOOL

7月23日(日)

岩手教育会館 多目的ホールにて上映。

121名来場。

ケニアのジャクソン、アルゼンチンのカルロス、モロッコのザヒラ、インドのサミュエル。4つの国の子どもたちの通学路は危険だらけで過酷な道のり。それでも子どもたちは学校へまっしぐらに向かいます。それぞれの通学路を通して、子どもたちの「学びたい」という気持ちに心を打たれるドキュメンタリー映画でした。



▲受付スタッフ



▲主催者あいさつ  
石橋専務理事



## 来場者の感想より

- 私は家から学校まで3kmあって、それでも疲れて心が折れそうになるのに、その倍の距離しかも石がごつごつした通学路を通してまで学校に行きたい子どもたちがいると知って、自分も学校に行けることに感謝しようと思った。(小学生)
- 15kmを2時間で通学するという事に驚きました。(20代)
- 象に襲われそうになりドキドキハラハラ、そして涙。「生きるか、学ぶか」という究極の選択、「学びたい」という気持ちは子どもに備わっていて、大人も忘れてはいけないと感じた。(30代)
- 過酷な環境の中、人生を切り開くために学校に通う子どもがいることを知った。(50代)
- 信じられない程のけわしい通学路。でも学びたい、将来の夢を実現したい、その思いこそ真実と思った。(60代)
- たくさんの困難や危険にもめげず、学校へ通う子供たち。たくましさや優しさ、一生懸命な姿や明るく助け合っている様子がすがすがしく、人間が本来持っているものなんだなあと感動。(70代)



当日の  
ユニセフ募金額  
22,224円



▲ロビーには、ユニセフのポスターや支援グッズを展示

## ユニセフ出前講座

8月5日(土)  
親子ユニセフ学習会 in やはば一く

いわて生協盛南コープ企画「親子ユニセフ学習会」に出かけました。内容は、大きく3つ。

- ①ユニセフとは ②世界の子どもの状況 ③ユニセフの支援

ユニセフはどんな団体か、日本との関りなどをお話し、世界の子どものDVDを鑑賞後、ユニセフの支援を説明しました。ネパールで使われている水がめやマラリア予防の蚊帳は、体験コーナーで実際に触れてもらいました。



▲ユニセフの支援を説明



▲蚊帳に入ってみよう



▲水がめを持ってみよう

●テレビのCMなどで、活動や世界の子どもの状況は知っていたものの…募金はちゃんとこの子どもたちに届いているのか…という気持ちもありましたが、今日のお話を聞いて、いろいろな形で支援されていることを知れてよかったです。少しずつでも支援していきたいと思います。

## 参加者の感想



- らくだが水を運ぶなんてすごいなと思いました。
- ユニセフの活動が良く分かった。水汲みの大変さを体験できてよかった。詳しく知れてよかった。
- 世界には、日本と同じように生活できない子どもがたくさんいるんだなと思いました。水をくむのにたくさんの時間がかかることがわかりました。

## ユニセフ講座 「アフリカの真珠」からの学び～ JICA海外協力隊の経験より～



世界の子どもの状況を知り、国際理解を深めるユニセフ講座を9月30日、岩手県公会堂で開催。ウガンダでJICA海外協力隊として活動されたJICA岩手デスクの市川雅美さんを講師に、ウガンダという国やJICAの活動内容などをお聞きしました。25名の参加でした。参加者からは、生活のこと、文化のこと、教育のことについて質問や感想が出されました。

## 参加者の感想

- JICAの活動が知れて、とても良かったです。
- 現地の様子のお話し、とても興味深かったです。環境の問題は、世界中で課題が山積みですが、「今やなくちゃ」の気持ちを広げたいです。
- 「アフリカの真珠」と言われるヴィクトリア湖があり資源が豊かなのに、まだ水くみに行かなければならないのは悲しいです。
- 子どもにも大人にも正しい教育は必要だと思いました。
- 「コミュニティに入り込んでいく」「自分の価値観を押し付けない」という言葉は様々な背景を持つ人たちに向き合うときに大切なんだと感じました。視野を広げる良い機会になりました。
- 子どもたちが笑顔でいることが、何より大切だと思いました。自分の活動にも活かしていきたいです。

